

図1. (a)仮定した有効法線応力の分布.(b)緑実線, 赤破線はそれぞれ, 仮定したすべり速度・状態依存摩擦則の摩擦パラメータ b の深さ分布 (モデル1). 青実線は, モデル2において仮定の分布. 黒点線はカットオフ速度

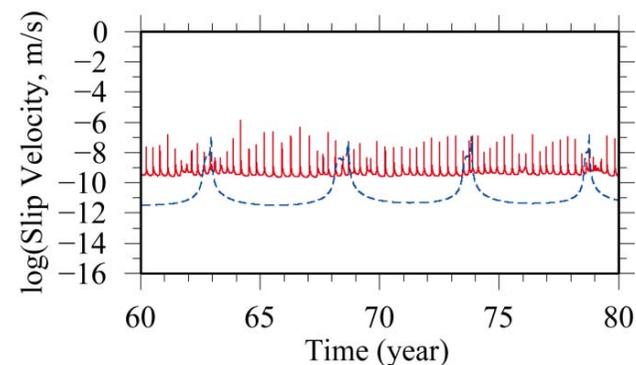


図2. 巨大地震サイクル間での, 長期的領域 (青点線) および, 短期的領域 (赤線) におけるすべり速度の時間変化

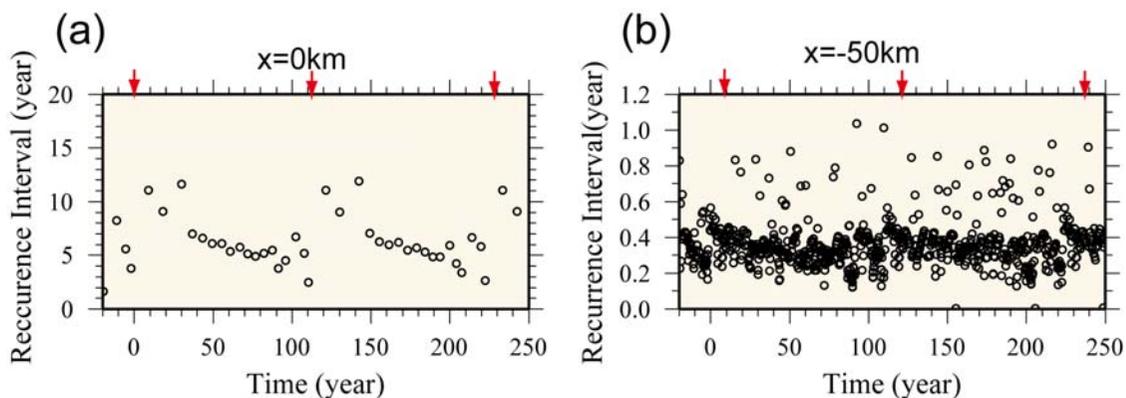


図3. 地震サイクルを通じた発生間隔の変化. 赤矢印は, 大地震の発生時を示す. (a)長期的SSE領域における間隔の変化.(b)短期的SSE領域における間隔の変化.

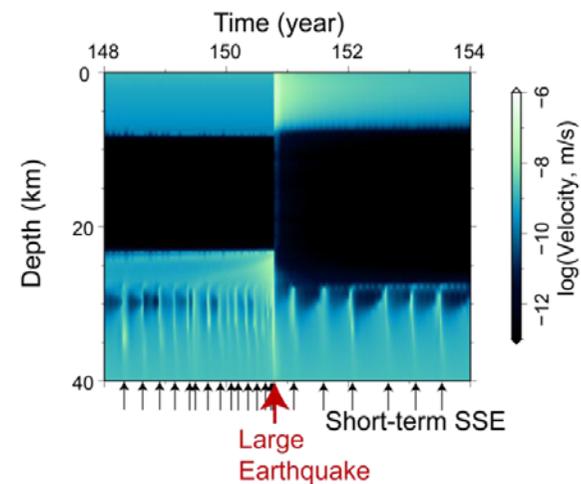


図4. 大地震発生 (赤矢印) 前後におけるすべり速度の分布($x=-50\text{km}$). 短期的SSEの発生時を黒矢印で示す.